

日本原子力発電敦賀発電所敷地内破碎帯の調査に関する  
有識者評価会合での見解について

2012年12月11日  
電気事業連合会  
会長 八木 誠

原子力規制委員会の有識者評価会合における敦賀発電所敷地内破碎帯の調査については、「今回の調査で新たに認められた『断層・ずれ』が、浦底断層とよく似た動きであることなどから、浦底断層と同時に動く活断層の可能性が高い」とされている。

今回の調査については、日本原子力発電が追加調査を実施し、客観的なデータに基づき実証していくこととしており、地元の皆さまをはじめ国民に理解されるためには、十分な根拠に基づき、慎重に判断すべきであると考えている。

今後、日本原子力発電において進められる追加調査のデータを含め、原子力規制委員会において更に詳細な検討を進めていただきたいと考えている。

以 上